

NetBackup™ Self Service リリースノート

10.1.1

マニュアルバージョン 1

NetBackup™ Self Service リリースノート

最終更新日: 2022-12-20

法的通知と登録商標

Copyright © 2022 Veritas Technologies LLC. All rights reserved.

Veritas、Veritas ロゴ、NetBackup は、Veritas Technologies LLC または関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

この製品には、Veritas 社がサードパーティへの帰属を示す必要があるサードパーティ製ソフトウェア（「サードパーティ製プログラム」）が含まれる場合があります。サードパーティプログラムの一部は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスで提供されます。本ソフトウェアに含まれる本使用許諾契約は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスでお客様が有する権利または義務を変更しないものとします。このVeritas製品に付属するサードパーティの法的通知文書は次の場所から入手できます。

<https://www.veritas.com/about/legal/license-agreements>

本書に記載されている製品は、その使用、コピー、頒布、逆コンパイルおよびリバースエンジニアリングを制限するライセンスに基づいて頒布されます。Veritas Technologies LLC からの書面による許可なく本書を複製することはできません。

本書は、現状のまま提供されるものであり、その商品性、特定目的への適合性、または不侵害の暗黙的な保証を含む、明示的あるいは暗黙的な条件、表明、および保証はすべて免責されるものとします。ただし、これらの免責が法的に無効であるとされる場合を除きます。Veritas Technologies LLC およびその関連会社は、本書の提供、パフォーマンスまたは使用に関連する付随的または間接的損害に対して、一切責任を負わないものとします。本書に記載の情報は、予告なく変更される場合があります。

ライセンスソフトウェアおよび文書は、FAR 12.212 に定義される商用コンピュータソフトウェアと見なされ、Veritasがオンプレミスまたはホスト型サービスとして提供するかを問わず、必要に応じて FAR 52.227-19「商用コンピュータソフトウェア - 制限される権利 (Commercial Computer Software - Restricted Rights)」、DFARS 227.7202「商用コンピュータソフトウェアおよび商用コンピュータソフトウェア文書 (Commercial Computer Software and Commercial Computer Software Documentation)」、およびそれらの後継の規制に定める制限される権利の対象となります。米国政府によるライセンス対象ソフトウェアおよび資料の使用、修正、複製のリリース、実演、表示または開示は、本使用許諾契約の条項に従ってのみ行われるものとします。

Veritas Technologies LLC
2625 Augustine Drive
Santa Clara, CA 95054

<http://www.veritas.com>

テクニカルサポート

テクニカルサポートはグローバルにサポートセンターを管理しています。すべてのサポートサービスは、サポート契約と現在のエンタープライズテクニカルサポートポリシーに応じて提供されます。サ

ポート内容およびテクニカルサポートの利用方法に関する情報については、次の **Web** サイトにアクセスしてください。

<https://www.veritas.com/support>

次の URL で **Veritas Account** の情報を管理できます。

<https://my.veritas.com>

現在のサポート契約についてご不明な点がある場合は、次に示すお住まいの地域のサポート契約管理チームに電子メールでお問い合わせください。

世界共通 (日本を除く)

CustomerCare@veritas.com

日本

CustomerCare_Japan@veritas.com

マニュアル

マニュアルの最新バージョンがあることを確認してください。各マニュアルには、2 ページ目に最終更新日が記載されています。最新のマニュアルは、**Veritas** の **Web** サイトで入手できます。

<https://sort.veritas.com/documents>

マニュアルに対するご意見

お客様のご意見は弊社の財産です。改善点のご指摘やマニュアルの誤謬脱漏などの報告をお願いします。その際には、マニュアルのタイトル、バージョン、章タイトル、セクションタイトルも合わせてご報告ください。ご意見は次のアドレスに送信してください。

NB.docs@veritas.com

次の **Veritas** コミュニティサイトでマニュアルの情報を参照したり、質問したりすることもできます。

<http://www.veritas.com/community/>

Veritas Services and Operations Readiness Tools (SORT)

Veritas SORT (Service and Operations Readiness Tools) は、特定の時間がかかる管理タスクを自動化および簡素化するための情報とツールを提供する **Web** サイトです。製品によって異なりますが、**SORT** はインストールとアップグレードの準備、データセンターにおけるリスクの識別、および運用効率の向上を支援します。**SORT** がお客様の製品に提供できるサービスとツールについては、次のデータシートを参照してください。

https://sort.veritas.com/data/support/SORT_Data_Sheet.pdf

目次

第 1 章	NetBackup Self Service リリースノート	5
	NetBackup Self Service 10.1.1 について	5
第 2 章	新機能および機能強化	7
	新機能および機能強化	7
	修正済みのバグ	9
	既知の問題	9
	以前のバージョンからのアップグレード	9

NetBackup Self Service リリースノート

この章では以下の項目について説明しています。

- [NetBackup Self Service 10.1.1 について](#)

NetBackup Self Service 10.1.1 について

NetBackup Self Service 10.1.1 は自動化と制御を IT に提供する一方、ユーザーがセルフサービスで通常のバックアップやリストアのリクエストを処理できるようにします。

Self Service のマルチテナント、役割ベースのアクセス、ダッシュボード機能により、保護対象や進行中のバックアップ使用状況を表示できます。Self Service のリクエストフォームを使うと、NetBackup 管理の複雑性についてトレーニングを受けていないユーザーでも複合ポリシー管理タスクを安全に管理できます。

企業の場合

複数の場所とデータセンターで多くのエンドポイントに対しバックアップおよびリストアを管理することは、通常はスペシャリストのチームを必要とするタスクです。ポリシーへの変更を有効にすることは、時間がかかる、間違えやすい手動アクティビティとなり、これによって重大なリソースが保護されなくなる可能性があります。

直感的なセルフサービスポータルを有効にすると、複雑さと間違いが減り、多くの手動ポリシー変更アクティビティが自動化されます。また、非バックアップスペシャリストは管理および監査される環境でバックアップおよびリカバリ関連のタスクを実行できるようになります。

サービスプロバイダの場合

混合プラットフォームで複数のテナントにバックアップおよびリストアサービスを提供することは、多くのサービスプロバイダにとって課題です。サービスプロバイダはセルフサービスを有効にし、バックアップおよびリストアに対するテナントリクエストを自動化できます。

このアクションによりテナントを管理し、プロビジョニングコストを大幅に減らすことができます。

NetBackup Self Service では、複数のテナントが、インフラストラクチャのバックアップおよびリストアのリクエストが直感的に行われる目的に合ったセルフサービスポータルにアクセスできるようになります。保護環境のステータスは追跡され、報告されます。

サービスプロバイダはテナント環境間の厳密な分離およびセキュリティを保証しながら、自動化から取得します。テナントは保護内容を管理および表示できます。

インストール

NetBackup Self Service をインストールする方法については、『**NetBackup Self Service 10.1.1 インストールガイド**』を参照してください。

新機能および機能強化

この章では以下の項目について説明しています。

- [新機能および機能強化](#)
- [修正済みのバグ](#)
- [既知の問題](#)
- [以前のバージョンからのアップグレード](#)

新機能および機能強化

NetBackup Self Service での Nutanix のサポート

NetBackup Self Service は、仮想マシンの形式で、Nutanix アプリケーションのバックアップとリストアの機能を提供します。Nutanix Prism Central および Nutanix クラスタ内の仮想マシンは NetBackup 環境からインポートされ、Self Service 内で登録されます。インポートは、テナントごとにテナントで実行されます。

NetBackup Self Service では、次の操作を実行できます。

- 保護のため、NetBackup サーバーから Nutanix 仮想マシンをインポートする。
- テナントを Nutanix Prism Central および Nutanix Cluster のインポートに関連付ける。
- 検出した仮想マシンを表示する。
- Nutanix 資産を保護するための保護を管理する。
- 追加された[今すぐバックアップ (Backup now)]オプションで、Nutanix 仮想マシンのバックアップを実行する。
- Nutanix 仮想マシン全体をリストアする。
- バックアップおよびリストア操作を監視する。

ストレージの構成

この画面は、**NetBackup Self Service** の対応するバックアップサーバーと対応する保護計画名からストレージ名を構成するために使用します。

[**Nutanix のインポート (Import Nutanix)**] 画面に検証が追加されました。この検証では、選択したプライマリサーバーと保護計画にストレージが構成されていることを[**ストレージの構成 (Configure Storage)**] 画面で確認します。この検証により、**Nutanix** 保護の作成時に **NetBackup Self Service** でストレージをすぐに作成できます。

vApp 間リストア

[**ESX ホスト選択アルゴリズム (ESX Host Selection Algorithm)**] と呼ばれる新しい構成項目が[**NetBackup アダプタ (NetBackup Adapter)**] セクションに含まれるようになりました。[**ランダム一致 (Random Match)**]、[**最良一致 (Best Match)**]、[**初回一致 (First Match)**] の3つのオプションがあります。デフォルトは[**ランダム一致 (Random Match)**] です。このオプションは、ソースと宛先の **vApp** が異なる組織 **vDC** に存在する場合に、**NetBackup Self Service** が、ある **vApp** から別の **vApp** に対する **VCD VM** のリストアを試行したときに使用します。

NetBackup Self Service は、ソースと宛先の **vApp** が異なる組織 **vDC** に存在する場合に、ある **vApp** から別の **vApp** に対する **VCD** 仮想マシンのリストアを試行したときにこのオプションを使用します。

この設定で許可されている値は以下のとおりです。

- ランダム一致:
 - すべての利用可能なホストから **ESX** ホスト **A** をランダムに 1 つ選択します。
 - ホスト **A** に、ランダムにリソースプールを選択します。
 - ホスト **A** に、空き容量が最も大きいデータストアを選択します。
- 初回一致:
 - 1 つ目に利用可能な **ESX** ホスト **A** を選択します。
 - ホスト **A** に、ランダムにリソースプールを選択します。
 - ホスト **A** に、空き容量が最も大きいデータストアを選択します。
- 最良一致:
 - 空き容量が最も大きいデータストアに接続されている **ESX** ホスト **A** を選択します。
 - ホスト **A** に、ランダムにリソースプールを選択します。
 - ホスト **A** に、空き容量が最も大きいデータストアを選択します。

修正済みのバグ

使用履歴とテナントクォータの適用

既知の問題

このリリースに既知の問題はありません。

以前のバージョンからのアップグレード

NetBackup Self Service 7.7、7.7.3、8.0、8.1、8.1.2、8.2、8.3、9.0、9.1、10.0、10.1 からのアップグレードはサポートされますが、SQL Server 2014 以降を使用している場合に限定されます。詳しくは、NetBackup ソフトウェア互換性リストを参照してください。

サイレントアップグレードは NetBackup Self Service 9.1、10.0、10.1 からのみ実行できます。

『NetBackup Self Service インストールガイド』で詳細を参照できます。「前提条件」セクションをよく読み、ご使用の環境が NetBackup Self Service 10.1.1 をサポートできることを確認してください。